

# 日刊 動労千葉

84. 12. 13  
No. 1816

国鉄千葉動力車労働組合  
千葉市要町二一八（動力車会館）  
（鉄電）二九三五・六（公衆）〇四七二・二七二〇七

# 第2の「81・3」を辞さぬ 闘争体制を確立しよう



「60・3ダイ改」阻止を突破口に、年末～来春の三里塚・国鉄決戦へ！

## 動労千葉の当面する具体的取り組みを決定

動労千葉は12月8日、第10回定期委員会を開催し、10万人首切り―国鉄労働運動解体攻撃の突破口である「60・3ダイ改」に対し、国鉄労働者の未来をかけ、第2の「81・3」をも辞さず闘い、粉碎するため、全組合員が一致団結して闘いぬく方針を満場一致で決定した。委員会で決定した「当面する具体的取り組み」については次のとおりである。

### 当面する具体的取り組み

1. 「60・3ダイ改」阻止へ向けて、内達対策委員会、検修対策委員会を中心に取り組み、第2の「81・3」を辞さない闘争体制の強化を図ることとします。  
当面、各支部で組合案Bダイヤ作成のための取り組みをすすめ、同時に当局提案のBダイヤの問題点を改善する要求を中心に現場長交渉を強化します。
2. 学士、助役試験合格者等を前面に立てた攻撃の兆候は、指導員、内勤に関する職制改正も含め、すでにあらわれています。  
われわれは、当局が現に組合員である者を利用するがごとき攻撃に出てきたときは、的確に反撃し、本人の説得も含めどちらが運転職場に残るのかをかけた泥沼になることを恐れず、ワッペン闘争等、従来方針を守り原則的に闘うこととします。
3. 「『三本柱』をクリアする」などの、動労「本部」革マル方針に対する批判を徹底し、デッチ上げ千葉「地本」解体の取り組みを強化します。
4. 家族会、地域班の結成、強化の取り組みが遅れていることを反省し、早急に全支部で結成できるように取り組みを強化します。
5. 世界最強の核空母・カールビンソンの横須賀入港は、日本への核持ち込みを公然化させるものであり、非核三原則と事前協議制を有名無実化し、日本を核戦場化する暴挙です。  
11月9日に横須賀臨海公園で開催される「原子力空母・カールビンソン寄港反対東日本集会」へ県労連の参加要請に応え取り組みます。
6. 「余剰人員の調整策」と称する首切り「三本柱」の提案、とりわけ「退職勧奨」制度の実施は、高令者に対する事実上の退職強要の攻撃であり、これを許さないとの立場から高令者対策懇談会、年令別集会を開催し高令者との意思疎通を図ってきました。  
今後も特選時期に応じて高令者との対話を深める取り組みを本部、支部一体となつてすすめていくこととします。
7. 指導員、交番係について、「職制改正」が強行されようとしていることにもまえ、指導員、交番係の勤務について検討するための専門委員会を設置し、取り組みを強化することとします。
8. 「60・3」提案は、運転保安をはじめこの間の闘いの過程でかちとつた成果をふみにじる等多くの課題をはらんでいます。  
従って、こうした成果を守り、さらに改善していくための取り組みを強化することとします。
9. 首切り「三本柱」に関して当局は、団交打ち切り通告後、出向に関する募集と「希望調査」を行ってきましたが、動労千葉は調査用紙を回収しました。  
また、（別紙1）に関して中央で種々の動向がありますが、動労千葉は12月7日、「申9号」を発し、退職条件、在職条件について従来通りの扱いとするよう要求しました。今後、第三者機関の活用も含め取り組みとし、具体的戦術は執行委員会で決定することとします。
10. 「一九八五年団結旗開き」は1月12日、労働者福祉センターで開催することとします。

**12月15日**

**労働学校の講座「集まろう 破防講座と労働者階級」**

講師 破防法裁判を交えた会  
講師 立正大学教授 浅田光輝氏

12月15日（土）13時、労働者福祉センター